



うさぎだより

令和7年(2025年)6月30日
札幌市立白楊幼稚園
年中 うさぎ組 No4

「あっ、警察の帽子白いよ!?」～社会生活とのかかわり～

警察署で行われた交通安全教室終了後、警察の方にいつも子どもたちが警察ごっこを楽しんでいることを話すと、とても喜んでくださり、子どもたちに本物の警察帽を被せてくれたり、警笛(ふえ)の音を聞かせてくれたりしました。鋭い響きの警笛は、声よりも広い範囲に注意喚起できるとのこと。分かりやすい説明に子どもたちは興味をもって嬉しそうに聞いていました。その後、全員パトカーに乗せてもらい、実際のスピーカーなどにも触れさせてもらいました。幼稚園に帰ると、すぐに警察ごっこをしようということになりましたが、「先生、警察の帽子白かったよ。」「女の

警察官かっこいいな。



人の警察の帽子はつばが無かったよ。」「笛作らないと!」と新たな気付きが生まれました。そこで今までのごっこ遊びで使っていたアイテムを見直し作ることになりました。警察ごっこでの武器は鉄砲ではなく警笛に変わりました。段ボールのパトカーには、犯人に注意喚起するためのスピーカーを付けました。実際に警察で本物に触れたことで、子どもたちのイメージが広がり、ワクワクしながら主体的に遊びを進めていく姿に繋がりました。



白い帽子と笛を作ったよ。



園外にある様々な人との出会いは、いろいろな人に支えられて生活していることに気付いたり、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、考えたことを伝えたいという気持ちに繋がったりします。今後も社会のいろいろな人に関心が向けられるよう、活動を工夫していきたいと思います。



パトカーで犯人を捜します。



犯人役も登場

友達と一緒に夏の遊びを思う存分楽しんでいます!



どのジュースがいいですか?



赤、黄、青の食紅を溶いた水で色水作りを繰り返して楽しんでいます。いろいろ試すことで「オレンジになった。」「緑になった。」「水で薄めたらピンクみたいになった。」など、気付いたことを教師や友達に伝えています。ジュース屋さんも開店し、その中でいろいろなやりとりも楽しんでいます。



足に泥を塗ると
気持ちがいいよ!



スプリンクラーを楽しんだ後は園庭の土がトロトロになり、また新たな遊びが始まります。カレーやチョコレート作り、足に塗って泥エステと楽しい遊びは尽きません。

「聾学校の友達と一緒に遊んだよ」～多様な人との関わり～

白楊幼稚園の年中組は毎年、札幌聾学校の幼稚部の子どもたちと年3回の交流を行っています。第1回目は、若草公園で一緒に遊ぶことになりました。子どもたちには、事前に「聾学校のお友達って声や音が聞こえにくいんだって」「踊りが大好きなんだって」「公園で遊ぶのも大好きだって」「手話で話をする子もいるんだって」など、聾学校の先生から聞いていたことを知らせていたので、一緒に遊べることを楽しみにし、当日を迎えることができました。始めはそれぞれで遊び、同じ学級の友達との触れ合いが多かったのですが、次第に大きな滑り台を一緒に滑ったり、虫を見たりして、自然に触れ合う姿が増えていきました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、お別れの時間。「また一緒に遊ぼうね」の手話を教えてもらい、次回会えることに期待しながら1回目の交流が終了しました。その後、園で子どもたちと交流の振り返りをしました。「一緒に遊んで楽しかった?」と聞くと「楽しかった!!」という声が返ってきました。「耳になにか入れている子がいたよ。」「あれは聞こえるようにだよ。」など、気付いたことを伝えようとする姿も見られました。「初めて会う友達と仲良くなるのは難しかったんじゃない?」と聞いてみると「難しくないよ。」「握手したら仲良くなるよ。」「タッチしたらいいよ。」「虫を見せてあげたらいいよ。」「一緒に遊べばいいよ。」などいろいろな声が聞かれました。教えてもらった手話もよく覚えていて再現しようとする姿も見られました。

聾学校の友達との交流を楽しみ、いろいろなことに気付いたり感じたりした子どもたち。幼児期の様々な経験がこれから多様性を受け入れ互いを認め尊重し合う心が育つことにつながるよう期待しています。



みんなでつながって滑ろう!

ダンゴ虫見る?



一緒に手話で挨拶したよ。

また、一緒に遊ぼうね。

